

組合支援 ウォッチ

地域に貢献する協同組合として

田川電気工事業協同組合（理事長 中田廣實、組合員31名 設立 昭和43年5月）では、年間に様々な事業に取り組んでいるが、その中でも地域に貢献する活動を3つ行っており、これにスポットを当てて紹介する。

① JR田川後藤寺駅前ボランティア緑化活動

平成21年より田川市観光協会が始めたボランティア活動で、平成22年の第2回目から組合青年部が参加したのが始まりである。

現在組合青年部を中心に継続して活動に参加し、年4回苗の植え替えを行うことで駅利用者である地域住民に四季を感じさせるとともに、地域住民や団体の参加者との交流を深めており今後も実施していく予定である。

② 公園水銀灯清掃活動

田川地域にある丸山公園は約1000本のソメイヨシノが毎年咲き誇り、地域住民が花見にたくさん訪れる場所として有名なスポットである。

組合では、開花シーズンに入る前の2～3月に公園内の水銀灯清掃活動をボランティアにて実施している。高所作業車を使用するなどかなり本格的なものでありボランティアの域を超えている感もあるが、地域の為になるならと平成26年も行われ、今後も継続して実施する予定である。

③ 電気使用安全月間による活動

全日本電気工事業工業組合連合会、各ブロック組合連合会、各都道府県電気工事業工業組合の主催で毎年8月に実施する電気使用安全月間において以下の取り組みを行った。

電気使用安全月間では、日頃何気なく使っている「電気」の事をもっと知ってもらい、電気です安全・快適な生活を送り、正しく使用する事でECOに繋げていくことを目的としている。

組合では、平成26年8月30日（土）、組合敷地内において電気に関する無料相談所を設置して、地域住民に対し電気に関するあらゆる事やECOに関する事の啓発普及を行った。

また同日、地元小学生を対象にして「LED親

子工作教室」を組合会館の会議室にて開催。教室では、2個のLED球を組み合わせてそれぞれ好みの色を使い、オリジナルランプを作成した。この目的はLEDというものを身近に感じながらモノづくりの楽しさを体感してもらい、LEDの特徴や光るしくみを学ぶ、というものである。参加者はそれぞれに楽しみながらオリジナルランプを作成、特に小学生は夏休みの工作の宿題に提出できたこともあり、大変好評であった。

紹介をしたいずれの活動も“地域社会に貢献する”がキーワードである。各組合員が電気というライフラインに関わる重大な責務を地域において果たし、これからも地域社会に貢献していく中で、ボランティア活動や電気・環境の普及啓発活動という、プラスアルファの“地域社会に貢献する”を実践することは大変素晴らしいものであり、今後も長くこの活動を続けていくことを期待する。



無料相談所にて相談を受ける組合役員



LED親子工作教室の様子